

6. 追浜駅交通結節点の将来の姿

6-1. 追浜駅交通結節点整備等により実現する機能

- 追浜駅交通結節点整備等により、交通ターミナル、歩行者デッキ、公共施設・防災施設等の機能が追浜駅周辺に実現し、平常時には賑わい空間として、災害時には防災拠点として追浜のまちに寄与します。
- これらの機能の実現のためには追浜駅交通結節点整備の他、市道追浜夏島線拡幅、鷹取川改修、駅前再開発事業や周辺の直轄事業と一体的に整備を推進します。

新たなモビリティネットワーク



※2

駅前や周辺の回遊性を向上させるモビリティネットワークを構築

公共施設・防災施設



※1

平常時に市民の憩いの場、災害時に情報拠点となる空間を設置

交通ターミナル



バス・タクシー乗降場等を駅前に配置し乗り換え利便性を確保

歩行者デッキ



賑わい空間の創出や回遊性向上のためのデッキネットワークを整備

国道16号・357号



追浜周辺の道路ネットワークの機能強化

駅前再開発



※3

駅前と新・既存再開発ゾーン間で必要な機能の役割分担を検討

市道追浜夏島線・鷹取川



交通量増加への対応のため、周辺まちづくりと連動した拡幅を検討

※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

<出典>

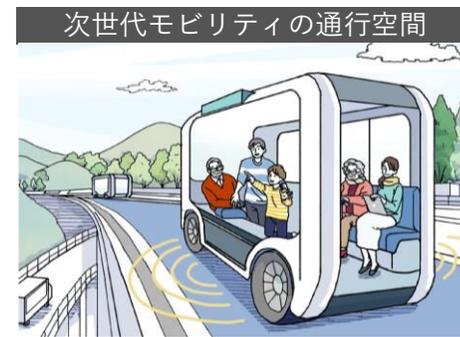
- ※1：国道2号 神戸三宮駅前空間の事業計画（国土交通省・神戸市）より
- ※2：2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～より
- ※3：追浜駅前第2街区市街地再開発組合提供

6. 追浜駅交通結節点の将来の姿

6-2. 周辺関連事業と連携した段階的事業推進イメージ

○周辺の関連事業と連携し、段階的に事業を推進することで、空間を有効に活用するとともに、連鎖型開発を実現していきます。

■追浜駅周辺の段階的事業推進イメージ



出典：2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～より

現在

将来

周辺事業と事業進捗を調整することで、段階的に空間を活用するとともに、連鎖型開発を実現



現在の駅前空間



出典：追浜駅前第2街区市街地再開発組合提供



6. 追浜駅交通結節点の将来の姿

6-3. まちづくりと一体となった追浜駅周辺の将来の姿



※1

賑わい機能（商業施設）整備イメージ



※1

歩行者デッキ整備イメージ



※1

交通ターミナル整備イメージ



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

<出典>

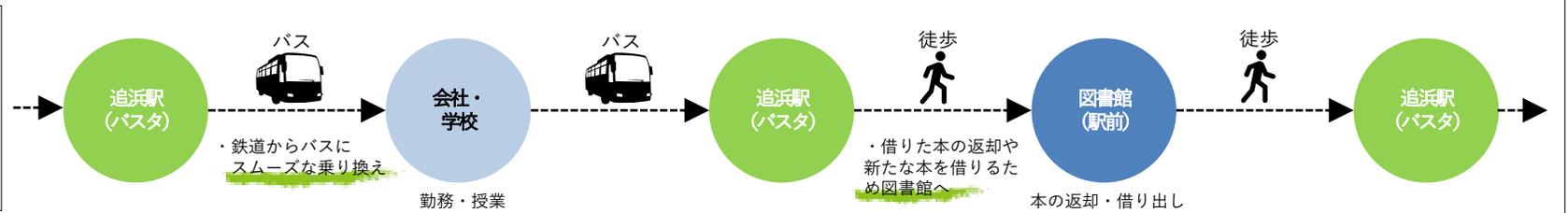
※1：追浜えき・まち・みちビジョンより

6. 追浜駅交通結節点の将来の姿

6-4. 将来の行動ストーリー

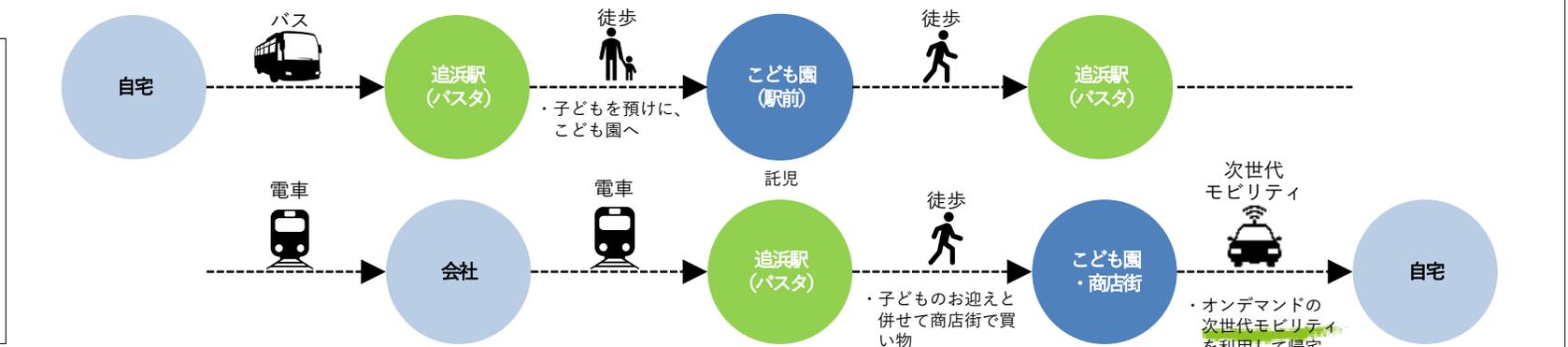
①通勤・通学者（追浜外⇒追浜内）

- 追浜外から追浜に通勤、通学する人の動き
- 駅前の図書館で本を借りて、電車内で読書しながら帰宅



②子育て世代の通勤者（追浜内⇒追浜外）

- 追浜に居住し、子育てしている人の動き
- 駅前施設にこども園があり、朝の時間に余裕が生まれる
- 帰路では、子供と一緒に駅前商店街で買い物



③イベント時来街者（追浜外⇒追浜内）

- 野球等を観戦に来訪する人の動き
- バス乗車場所がわかりやすいので、初めての来訪でも迷わない
- 帰りは周辺を散策しながら商店街で飲食

